

【医療的ケア】

	課題	課題を受けて各校から出された意見	協議の視点																																								
松本盲学校	<p>1 医療的ケアを行うための施設・設備の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学部1年生1人の医療的ケアを行っているが、更に医療的ケアを必要とする児童生徒が増えることが予想されるため、必要な施設・設備の充実が望まれる。 <p>2 医療的ケアを必要とする児童生徒の移動手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアを必要とする生徒の多くは、車椅子やバギーカーを利用して移動するケースが予想されることから、階段の上り下りは複数の職員が移動支援が必要となる。 	<p>1 医療的ケアを行うための施設・設備の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアを受ける生徒が増えることが予想されるため、医療的ケア室を常設する。その部屋には、エアコンや空気清浄機、診療ベット、給湯施設、流し台等を常設する。 ・近隣の病院と連携を図りながら、重度重複障がいのある児童生徒の緊急時対応ができる体制を構築する。 <p>2 医療的ケアを必要とする児童生徒の移動手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽室やパソコン室、図書館は2階の配置であるため、エレベータ等の移動手段を確保したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアの必要な児童生徒の増加を踏まえた施設・設備の充実 ・緊急時の病院との連携体制の構築 																																								
松本養護学校	<p>1 医療的ケアの必要な児童生徒の増加による教室のスペース不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの教室を使用。大きい方の教室にはベッド1台とプラットホームのみ置くようにし、2人がそこを使い、あとは、集団授業で10人前後が入って使っている。ダイナミックな活動は登校人数が少ない日に限定されてしまう。スクーリング生も毎日1名入ってくる。昼食時にはそこに小学部の医ケア生2名+教員2名も入り、総勢12名程度になり、看護師の安全な動線を確保するのも難しい日がある。 ・小さい方の教室は畳8畳が敷かれ、そこに6~8人が横になって休み、車イス等の出し入れは狭い空間で行われる。呼吸器のついている児童生徒の保護者1~2名もここで待機しているので、狭い中でやりくりしている現状がある。昼食時は総勢10名程度になる。 <p>2 医療的ケアの必要な児童生徒の通学にかかわって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度で考えた場合、医ケアの必要な児童生徒の通学の状況は、通学生訪問部生を合わせて北東部4名、南東部7名となり、遠距離からの通学をしている。 ・「ひまわり部の児童生徒の居住地」 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">訪 問</th> <th colspan="2">通 学</th> </tr> <tr> <th></th> <th>合 計</th> <th></th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松本市 北東</td> <td>1</td> <td>松本市 北東</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>松本市 南東</td> <td></td> <td>松本市 南東</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>松本市 中央</td> <td>1</td> <td>松本市 中央</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>松本市 北西</td> <td>0</td> <td>松本市 北西</td> <td></td> </tr> <tr> <td>松本市 南西</td> <td>5</td> <td>松本市 南西</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>松本市 波田</td> <td></td> <td>松本市 波田</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>塩尻市 北部</td> <td>1</td> <td>塩尻市 北部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>8</td> <td>合 計</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 緊急時の体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の体制として、こども病院への搬送は40分、信大病院へは40分、中信松本病院へは35分必要である。 	訪 問		通 学			合 計		合 計	松本市 北東	1	松本市 北東	1	松本市 南東		松本市 南東	2	松本市 中央	1	松本市 中央	1	松本市 北西	0	松本市 北西		松本市 南西	5	松本市 南西	4	松本市 波田		松本市 波田	2	塩尻市 北部	1	塩尻市 北部		合 計	8	合 計	10	<p>1 医療的ケアの必要な児童生徒の増加によるスペースの不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室にベッドを入れる。ベッドが増えると、車イス、ストレッチャー、付属の用品、医ケア用品等々、一人当たりのスペースが手狭になり、そのための事故が起きる可能性もあるため(せまい場所での医ケア等で呼吸器がはずれる等)、広い教室で授業が行われるようにする。 <p>2 医療的ケアの必要な児童生徒の通学、スクーリングにかかわって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本市北東部の松本盲学校、松本市南東部の松本ろう学校、寿台養護学校など、自宅から近い学校で教育を受けられる体制ができればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアの必要な児童生徒の通学時、スクーリング時の負担軽減
訪 問		通 学																																									
	合 計		合 計																																								
松本市 北東	1	松本市 北東	1																																								
松本市 南東		松本市 南東	2																																								
松本市 中央	1	松本市 中央	1																																								
松本市 北西	0	松本市 北西																																									
松本市 南西	5	松本市 南西	4																																								
松本市 波田		松本市 波田	2																																								
塩尻市 北部	1	塩尻市 北部																																									
合 計	8	合 計	10																																								
安曇養護学校	<p>1 看護師の負担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた医療環境であることや医師が常勤しない、授業中・給食中に行う医療的ケアは、看護師の心理的負担が大きくなっている。 ①授業中、給食中との兼ね合いをみながらの医療的ケアを行う配慮 ②「注入」を行う場の確保と医療的ケアの高度化への対応 ③緊急に病院に連れて行く場合は、こども病院まで30分間ほどかかる。 	<p>1 看護師の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医も可能な限り参加しての医療的ケア委員会の定期的開催 ・医療的ケアが適切に行われる場を確保 																																									
寿台養護学校	<p>1 重度重複障がいのある児童生徒の学習スペース及び体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数の増加、とりわけ医療的ケアを必要とする児童生徒の増加により、複数の部屋で食事介助・安全確保をすることが困難になったため、プレイルームに新たに流し(シンク)を設置して一か所で全員を介助できるようにした。ただ、学習時は部屋が不足しているため、廊下や観察室等本来学習室には適さないスペースも使っている。来年も数名入学することが決まっており、更なるスペース確保が必要になる。 ・緊急時を想定した訓練は毎月実施し、マニュアルを修正していくと共に、全職員が安全確保のためにスムーズな動きができることを目指して取り組んでいる。 	<p>1 重度重複障がいのある児童生徒の学習スペースの拡充及び体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習スペースの拡充及び体制の整備が強く望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアの必要な児童生徒の増加を踏まえた施設・設備の充実 ・緊急時に対応できる体制の整備 																																								

